

組立説明図				部品(パーツ)	
JISQ1011:2009				JISA5308:2009	
工程名	管理項目	品質特性	管理方法及び検査方法	品質基準	検査基準
3. 練混ぜ	3' a) 練混ぜ方法 b) 練混ぜ時間 c) 練混ぜ量 d) 容積	3'' 1) 強度 2) スランプ又はスランプフロー 3) 空気量 4) 塩化物含有量	3''' (3)練混ぜ量, 強度, スランプ又はスランプフロー, 空気量及び塩化物含有量	8.3 練混ぜ 練混ぜは, 次による。 a) レディーミクストコンクリートは, 8.1.3に規定するミキサによって, 工場内で均一に練り混ぜる。 b) コンクリートの練混ぜ量及び練混ぜ時間は, JIS A 1119に定める試験を行い, 8.1.3 c)によって決定する。	—
4. 運搬		4'' 運搬時間	4''' 運搬時間	8.4 運搬 レディーミクストコンクリートの運搬は, 次による。 a) レディーミクストコンクリートの運搬は, 8.1.4に規定する運搬車で行う。 b) コンクリートは練混ぜを開始してから1.5時間以内に荷卸しができるように, 運搬しなければならない。ただし, 購入者と協議のうえ, 運搬時間を変更することができる。 c) ダンプトラックでコンクリートを運搬する場合の運搬時間はコンクリートの練混ぜ量及び練混ぜ時間は, 練り混ぜを開始してから1時間以内とする。	

注⁽³⁾ 管理項目は, 次のとおり行っており, かつ, 品質特性の検査方法・検査頻度は次のとおりとする。

- 1) 同一バッチに異なる製造業者のセメントを用いて練り混ぜてはならない。
- 2) 同一バッチに異なる製造業者の高炉スラグ微粉末を用いて練り混ぜてはならない。
- 3) 容積は, 全バッチについて目視などによっておおよそその量を把握していること。
- 4) 品質特性の各項目を試験するための試料は, ホッパ又はトラックアジテータから採取する。トラックアジテータから採取する場合は, JIS A 5308 の9.1(試料採取方法)による。
- 5) 強度は, 代表的な配合について1回以上/日 JIS A 5308 の9.2(強度)に基づく試験方法又はJIS A 1805又はこれに代わる合理的な方法によって行う。ただし, 代表的な配合がない場合には, 任意の配合について行う。なお, 呼び強度が異なるものを含む場合の管理は, 強度比を用いて一元化してもよい。
- 6) スランプは, 全バッチについて目視などによる確認を行い, かつ, JIS A 1101による場合には, 2回以上/日行う。
- 7) スランプフローは, 2回以上/日 JIS A 1150によって行う。
- 8) 空気量は, 2回以上/日測定する。
- 9) 塩化物含有量は, 次のとおり測定する。
 - 9.1) 海砂及び塩化物量の多い砂及び海砂利を使用している場合, 再生骨材Hを使用している場合及び普通エコセメントを使用している場合には, 1回以上/日行う。
 - 9.2) 9.1)以外の骨材を使用し, かつ, JISA6204のⅢ種を使用している場合には, 1回以上/週行う。
 - 9.3) 9.1)以外の骨材を使用し, かつ, 9.2)以外の混和材料を使用している場合には, 1回以上/月行う。
- 10) 普通コンクリートで付着モルタルを再利用する場合は, JIS A 5308の8.5(トラックアジテータのドラム内に付着したモルタルの取扱い)による。